

大崎上島町 社協だより

No. 263

2025(令和7)年3月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



交流・生きがい生まれる 地域の活動紹介



「かみじまネット協力員」



空いた時間で通院の付き添いやゴミ出し、掃除などで困っている人の助けになれる活動です。

「ふれあいサロン」



町内23か所にあり、会食やおしゃべりなどの交流ができる地域のホッとする場となっています。

「健康体操・ストレッチ教室」



町内3か所で週に1回、体操・ストレッチを行い、仲間たちと楽しく健康づくりに励んでいます。

「老人クラブ活動」



町内20か所にあり、各クラブが交流会や旅行などを企画している他、連合会主催のグラウンド・ゴルフ大会や料理教室などを開催しています。



身近なところに
「たのしい」が
あるよ

「外出支援協力員」



通院が困難な方を病院まで送迎します。たくさんの方の病院受診を支えています。

社会福祉協議会では、町民の皆さまの健康づくりや生きがいづくり・社会参加に繋がるように様々な地域活動の実施、支援を行っております。今回は身近な社協の地域活動についての紹介をさせていただきます。本会の活動にご参加・ご協力して頂くことを通じて顔の見える、誰もが活躍できる地域づくりを推進していきますので、身近な地域活動で気になることがございましたら、ぜひ社会福祉協議会へお問い合わせください。(☎62-1718)



2月17日、サロン協力員の皆さまにお集まりいただき、サロン協力員連絡会を開催しました。

最初に令和6年度、サロンにどのようなゲストが来られたかなど紹介をして活動の振り返りをしました。次に4グループに分かれてグループワークをして、話の内容を発表していただきました。

普段サロンでどんなことをしているか、やってみて盛り上がったことなど、他のサロンの様子や各サロンの特徴を知ることができました。協力員も楽しんでサロンを運営してくださっていることがよくわかりました。

サロン助成金についての見直しや他の地区サロンとの交流をしたいとのご意見もいただいたので、事務局内で検討し、サロンがより活発に活動できるように計画していきます。



グループワークの様子

2月、3月のサロン活動紹介

<人生の彩ノートの見直し>

残された大切な人のために書き示す将来への備え

福祉課岡崎さんより、彩ノトは家族が見つけやすい場所へ保管するようにアドバイス



広島国際大学

<瀬戸内イキイキプロジェクト交流会>



学生より手作りメッセージカードをプレゼントいただきました！

<大崎上島幼稚園交流会>



園児による元気いっぱい手話歌の披露とハンドベルで交流しました(^ ^)

<ガンバルーンボール体操>



歌いながら体を動かすのが大事です！曲は五木ひろしの「ふるさと」で♪



身体障害者福祉協議会だより

カラオケ交流会を開催しました！



2月21日、ふれあいの館において今年度2回目のカラオケ交流会を開催しました。懐かしい歌に心を傾けたり、久々の再会を喜んだりといった間の2時間半でした。前回より参加者も増え、さらに楽しい充実した時間を過ごしました。

今回のカラオケ交流会で今年度最後の行事となりました。この一年たくさんの行事にご参加いただきありがとうございました。

来年度も会員同士が楽しめるような企画をしていきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



近距離モビリティ体感イベント in すみれ祭り

2月16日、すみれ祭りにおいて県立広島大学三原地域連携センターとネットヨタ広島と大崎上島町社会福祉協議会が共同で、電動モビリティ(WHILL)の体験試乗会を実施しました。

来場された方に試乗して頂いたほか、体験試乗会では8名の方に会場周辺のお店まで実際に(WHILL)で移動してもらい、乗り心地を体感して頂きました。実際に乗車した方からは「良い体験ができた」といったお声をいただきました。

社協は引き続き、島の暮らしを支える事業に協力していきます。

簡単操作で
スイスイ進める！



社協活動・包括支援センター
紹介のパネル展示をしました！



ポイント 電動モビリティ(WHILL)とは免許不要で歩道を走れるスマートな次世代型電動車椅子です。安定した走行、小回り性能で狭い道や歩行者の中を快適に走行できます。

かみじまネット推進委員会で1年の振り返り

2月28日、かみじまネットの活動に日ごろから携わっていただいている5名の委員にお集まりいただき、かみじまネット推進委員会を行いました。今回は、昨年実施した安芸太田町社協「さんさんねっと」との交流会の報告や来年度の事業計画について協議しました。

令和6年度は、新しいポスターを作成し、多くの方にかみじまネットを利用して頂きました。引き続き住民が利用しやすく、協力員が活動しやすい事業にするための活動や広報、研修会を行っていきます。



安芸太田町社協「さんさんねっと」
との交流会の様子



ゴミ捨て・掃除・草取りなど
たくさんの活動がありました！



いただいたご意見を活動
に活かしていきます

かみじまネット事業は赤い羽根共同募金の配分金で実施しています



権利擁護セミナーを開催しました



2月10日、東野保健福祉センターにおいて、権利擁護セミナーを開催しました。今回は「元気なうちに学ぶ老い支度」について、広島司法書士会・(公社)成年後見センター・リーガルサポート広島県支部所属司法書士 木下 敬規 先生による講演会を行いました。

老い支度の大きな柱組みである、**相続・遺言、後見制度・家族信託、※ACP・死後事務委任委託**について、先生の経験も交えながら分かりやすく説明していただきました。

後で困らないために自分自身の意思表示ができる今のうちから、遺言書の作成などで備えておくことの大切さを知ることができました。



講師の木下先生

※ACP：もしもの時のために、自分自身が望む医療やケアについて前もって考え、近しい人達や医療従事者と繰り返し話し合い、共有する取り組み

赤い羽根ボランティアスクールを開講しました

2月5日、12日、19日の3回にわたり、赤い羽根ボランティアスクールを開講しました。今年度は9名の参加をいただき、そのうち3名は初めてボランティアスクールを受講されました。今後も町内のボランティア活動や障がい児者支援に関心を持っていただけるような企画を行います。



第1回

『出会いからの始まり』～体感ボランティア～

講師：清光寺住職・社会福祉士 松浦 真英 氏



松浦氏の講義では、参加者にボランティアという言葉との出会いを問い、松浦氏自身が経験してきた国内外でのボランティアの体験と活動者の心構えをお話いただきました。学生時代からボランティアに携わって来られた方や、最近になってボランティア活動をしてみたいと思うようになった方など、様々な人生を歩んできた受講者が、改めてボランティア活動について考えさせられる内容でした。

第2回

『障がい児者との関わり』

講師：国立病院機構賀茂精神医療センター 非常勤児童指導員 元山 淳 氏



元山氏の講義では、就学免除という制度の歴史や、障がいの特性と合理的配慮の必要性、利用者1人から「ひとは作業所」を起ち上げ、地域とのつながりを作った寺尾文尚さんについてお話いただきました。社会福祉協議会や福祉事業所の在り方、地域の様々な人を巻き込んで、誰もが住みやすいまちを作っていくことの大切さを学ぶことができました。

第3回

『幸せに暮らしたい みんなの願いをカタチに』 ～島の輪でみんなで見守り・助け合い～

パネリスト：大崎上島障がい児者 わかば会 会員



わかばの会の会員の方から、自分の子どもが障がいを持っていると分かったきっかけや、療育手帳をもらうことへの葛藤、親亡き後の子の生活への不安についてお話いただきました。地域の方の何気ない声かけや見守りがすごく助かったという話があり、ちょっとした声かけや小さな親切を広げていくことが、障がいがあっても安心して暮らせる地域づくりに繋がるのだと学ぶことができました。

春爛漫!!

4/4

桜を愛でに出かけませんか?

～ビュッフェの旅～

在宅介護者リフレッシュ交流会のご案内

在宅で寝たきりや認知症のご家族、また障がいを持たれているご家族を介護されている皆様の介護に関する情報交換やリフレッシュを目的として「在宅介護者リフレッシュ交流会」を開催します。ぜひご参加ください。



1. 開催日 令和7年4月4日(金)9:00～17:00
2. 行き先 尾道 千光寺公園 (広島県尾道市東土堂町19-1)
3. 日 程 9時から参加者の皆様をお迎えに行きます。安芸津の桜の名所「正福寺」に立ち寄ります。その後竹原のバンブー公園の桜を愛でながら「千光寺公園」へ向かいます。昼食は「旬菜ビュッフェレストラン露菴」でお好きな食べ物を召し上がっていただきます。「千光寺公園」にて、眼下に尾道の街並みを眺めながら、咲き誇る桜に心癒していただきます。
4. 対象者 町内でご家族やご親戚等を介護されている方、または介護されていた方
5. 参加費 3,000円
6. 申込 3月26日(水)までに社協居宅介護支援事業所(☎62-1255)または社協本所(☎62-1718)までご連絡ください。(先着10名様まで)
7. 旅 程 詳しい旅程は、お申し込みいただいた方にあらためてお送りいたします。
8. 問合せ 社協居宅介護支援事業所(☎62-1255)担当:賀志谷^{かしたに}まで

リフレッシュ交流会は赤い羽根共同募金の配分金で実施しています



認知症サポーター養成講座 in 大崎海星高校



生徒の前で認知症サポーターや認知症についてお話をしている様子。

3月5日、福祉課 認知症地域支援推進員 岡崎 幸子様と地域包括支援センター職員で、大崎海星高校の1年生を対象に、認知症サポーター養成講座を行いました。今年で4年目になります。

講座では、まず認知症サポーターの説明や役割、認知症の種類や病気の原因、実際にどういった障害が起こるのかなどの基本的な知識についてお話をしました。特に認知機能のトラブルのメカニズムを、事例を交えて生徒と一緒に考える時間を交え、実際の介護現場での経験を活かして、認知症の人への接し方や、認知症になっても色々なことができる力が残っていることなどをお話させていただきました。

「認知症」という言葉は知っていても、実際に認知症の人と思われる人と会ったことや接したことがある生徒が少ないということで、今回の養成講座により少しでも理解が深まり、認知症になっても誰もが尊厳を守られながら、希望を持って生活ができる町づくりのきっかけになることや、この町の福祉の仕事に少しでも興味を持ってもらえたらと思います。

今後も、地域住民向けの講座や学生を対象に、認知症サポーター養成講座や認知症サポーターステップアップ研修会を福祉課と一緒に開催していきますので、ぜひご参加ください。



認知症サポーターとは！

認知症の人を直接介護するわけではありません。

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族の方の応援者になることです。

もし道端で、きょろきょろして何か困った顔をしている人、もしかすると認知症の人で、帰り道がわからなくなっているのかもしれない。そんなときに「何かお困りですか？」と声をかける。また、声をかけることが難しい場合は、その心配な気持ちを誰かと共有し、本当に大丈夫か相手を気にかけて思いやること、それが「認知症サポーター」です。



何かお困り
ですか？



《相談窓口・問い合わせ》 大崎上島町地域包括支援センター ☎67-0022

大崎上島町木江5-9 (木江保健福祉センター内)

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【令和7年2月14日～令和7年3月13日 お申し出分】

【香典返し】

- ・原田 山本 秀樹 様 (故母 静子 様)
- ・中野 今井 重雄 様 (故父 清二 様)
- ・沖浦 川口 耕史 様 (故母 泰子 様)

【一般寄付】

- ・大崎上島けんこう文化の島づくり協議会様
(すみれ祭フリーマーケット売上)
- ・中野 切戸 誠司 様
(福祉サービス利用のお礼)
- ・匿名 (1名様)

【生前のお礼】

- ・東野 出口 真理子様 (故母 笹田津田子様)
- ・明石 三浦 雅彦 様 (故兄 敏彦 様)
- ・東野 加藤 佐和子様 (故夫 弘治 様)
- ・中野 松浦 哲也 様 (故父 幸雄 様)
- ・木江 河田 昭三 様 (故妻 英子 様)
- ・明石 大下 立子 様 (故夫 勲三 様)



社協からのお知らせ

認知症の人と家族の会 ～4月定例会のご案内～



日時：4月25日(金) 9:30～11:30

場所：オレンジハウス

対象者：認知症状がある方、在宅で介護されている方



在宅介護者家族会 ～4月は2回～

◎リフレッシュ交流会 ～千光寺公園～

日程：4月4日(金) 9:00～17:00

対象：在宅で介護されている方、または介護されていた方
(内容につきましては本社協だより6ページ目をご確認ください)

◎在宅介護者家族会

日程：4月18日(金) 13:30～15:00

場所：大崎老人福祉センター1階(すまいる一む)

対象：在宅で介護されている方、または介護されていた方
社協居宅 ☎62-1255までお問い合わせください。



注目! 3月は「命の宝箱」を確認する月です!

1年が経つのは早いですね。命の宝箱(救急医療情報キット)の中身を確認する時期が参りました。この機会に冷蔵庫から出して、緊急安心シートの記載内容の確認・修正をしましょう!

新たに書き直したいけど用紙がない、容器がない、壊れている、また一緒に書いてほしい等ございましたら、社協本所へご連絡下さい♪

社会福祉協議会本所 ☎62-1718 (担当: 地域福祉係)



「社協だより」は、皆様からの社協会費・寄付金などにより、発行させていただいております。